



Kaspersky
Endpoint Security
for Business

Kaspersky Endpoint Security for Linux

Linuxベースのサーバーとワークステーション向けに信頼性の高い保護機能を提供

Linux は、高いパフォーマンスでサーバーを運用でき、またコスト効率に優れたワークステーションの運用が可能なため、多くの企業で利用されています。Linux を利用するデバイス、および 業務システムの基盤としてLinux環境の利用が増加しているため、Linuxを狙うマルウェアの脅威から保護するセキュリティ対策が必要です。

Kaspersky Endpoint Security for Linux は、企業で最も広く利用されている Linux 環境に信頼性の高い保護を実現します。

特長

- 機械学習によって強化された多層防御
- Kaspersky Security Network を活用したクラウド型脅威インテリジェンス
- 実体のないマルウェアなど次世代の脅威を検知
- システムパフォーマンスへの影響を最小限に抑えるように最適化
- 物理マシンと仮想マシンの両方に対応
- Kaspersky Security Center による一元管理

利点

- 業務を中断させることなく、サイバー脅威に対する信頼性の高い保護
Kaspersky Endpoint Security for Linux は、多層防御型セキュリティにより、既知の脅威や高度な脅威から Linux ベースのサーバーとワークステーションを確実に保護します。クラウドベースの脅威インテリジェンスの情報を活用して、誤検知率の低減と業務の遂行を妨げることなく最新の脅威に迅速に対応します。
- 物理マシンや仮想マシンでも高パフォーマンスを発揮
Kaspersky Endpoint Security for Linux は、物理マシンや仮想マシンでもシステムに与える影響を最小限に抑えるよう設計されています。
- 効率的な一元管理
Kaspersky Endpoint Security for Linux は、Kaspersky Security Center を利用してリモートから導入・展開することができるため、製品のインストールと管理が簡単で、かつ迅速に実行できます。Linux ベースのエンドポイントに対してグループ毎に、または個々にタスクやポリシーの設定、スキャンの設定などが可能です。これらの操作は、ほかのカスペルスキー製品を管理している Kaspersky Security Center の同じコンソールから操作できます。

Kaspersky Lab 独自の HuMachine アプローチは、ビッグデータを解析した脅威インテリジェンス、機械学習、技術者の専門知識を組み合わせることで、より強固な多層防御を実現しています。それらを緊密に連携させることで各要素の強みが最大化され、より高い保護が可能になります。

機能

多層防御型の保護

クラウドベースの脅威インテリジェンス: Kaspersky Endpoint Security for Linux は、分析された脅威に関する情報を蓄積し、迅速かつ正確に脅威を検知する Kaspersky Security Network (KSN) を利用できます。

ヒューリスティック分析: アプリケーションの振る舞い分析により、悪意のある行動パターンを監視し、さまざまなマルウェア群を特定します。

「実体のない」マルウェアの検知: ディスクのブートセクター、および起動したプロセスのメモリのスキャンにより、メモリ内部に潜み特定が非常に困難な「実体のない」マルウェアを検知することができます。

自動再起動による継続的な保護: Kaspersky Endpoint Security for Linux は、正常に機能しなかった場合や強制終了してしまった場合には、自動的に再起動するため、エンドポイントを継続的に保護します。

最適化されたパフォーマンス

負荷分散: サーバーの負荷分散と最適化されたスキャン技術により、システム全体のパフォーマンスが向上し、保護に必要なシステムリソースの消費を低減させます。また、信頼性の高いプロセスをスキャン対象から除外することもできるため、さらにパフォーマンスを向上させることができます。

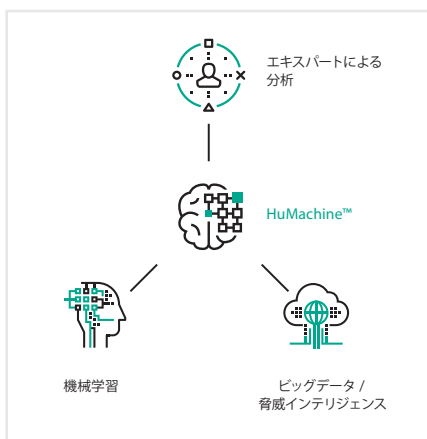
リソースの最適化: Kaspersky Endpoint Security for Linux は、アクセスされたネットワーク共有フォルダのみ監視することで、システムリソースを自動的に最適化します。これにより、最適な保護レベルを維持しながら、システムリソースとサーバーの負荷を低減できます。

リアルタイム保護とオンデマンドのスキャン: 起動、開く、変更の操作が行われたすべてのファイルをスキャンして、感染したすべてのファイルを駆除、または削除します。また、システム内の特定領域を予め設定されたスケジュールに沿って、またはオンデマンドでスキャンして、アンチマルウェアによる保護を実現します。権限のないユーザーのファイルスキャンも可能です。

一元管理

容易なインストール: インストーラーは導入に必要な設定を対話形式で行うことができるため、かんたんに製品をインストールできます。また、インストールは、ひとつのパッケージを利用して完結に行えるため、システム管理者の作業負担を軽減します。

継続的な運用: ワークステーションやサーバーのオペレーティングシステムがアップデートされた後、製品の再インストールや再セットアップが不要なため、システム管理者が関与することなく、安定した継続的な保護が可能です。



購入方法

Kaspersky Endpoint Security for Linux は以下の製品に含まれています。

- Kaspersky Endpoint Security for Business | Core (Linuxサーバー除く)
- Kaspersky Endpoint Security for Business | Select
- Kaspersky Endpoint Security for Business | Advanced
- Kaspersky Security for File Server (Linuxワークステーション除く)

株式会社カスペルスキー

製品情報: www.kaspersky.co.jp/business-security/endpoint-linux

ご購入相談窓口: jp-sales@kaspersky.com

www.kaspersky.co.jp

©2017 Kaspersky Lab. All rights reserved.
Kaspersky およびカスペルスキーは Kaspersky Lab の商標登録です。その他記載された製品名などは、各社の商標もしくは登録商標です。なお、本文では、TM、® は記載していません。